



## 10/12 みんなで楽しくスポーツで交流 菊池市民体育大会

菊池市民体育大会が菊池公園多目的グラウンド・七城町体育館・泗水町体育館で開催されました。この大会は、市民誰もがスポーツに親しみ、スポーツを通じて地域の交流と親睦を図ることなどを目的に開催されたものです。

予選会には総勢 1,230 人が参加。本大会には 525 人が出場し、グラウンドゴルフとミニバレーが行われ、それぞれ白熱した大会となりました。

優勝チームは次のとおりです。



白熱した試合が繰り広げられたミニバレー

### ■ミニバレー (58 チーム 285 人)

50 歳以上

男子 限府 3 区

女子 わがまま (菊池)

49 歳以下

男子 限府 5 区

女子 限府 4 区

### ■グラウンドゴルフ (60 チーム約 240 人)

富の原台区 B、甲森北 A

グラウンドゴルフでは時折笑い声や歓声が聞こえてきました

## 10/13 祈るは天下泰平・国家安穩 御松囃子御能奉納

菊池神社秋の例大祭に合わせ、菊池松囃子能場で御松囃子御能が奉納されました。これは、菊池 15 代武光のときに懐良親王のためにお正月の祝言として行われたのが始まりとされ、650 年間途絶えることなく継承されている菊池の伝統芸能です。国指定重要無形民俗文化財 (指定名：菊池の松囃子) に指定されています。

当日は市内の小学生や高校生のほか、市内外から多くの方が訪れ、能や狂言を楽しんでいました。



1. 初めに奉納される「勢利婦」 2.3. 狂言が披露されると会場には笑い声が広がりました

## 10/12 第1回JAグループ熊本杯 ・13 学童軟式野球大会

第1回 JA グループ熊本杯食農教育学童軟式野球大会が球磨川河川敷スポーツ公園で開催され、菊池市代表で出場した泗水ウエストレイズが優勝しました。この大会は、小学4年生以下の子どもたちが出場する大会で、日ごろ試合に出られない子どもたちがプレーしました。

大会には県内各都市の予選を勝ち上がった代表 22 チームが出場。低学年の試合とは思えない素晴らしいプレーもあり、盛り上がりを見せました。



優勝した泗水ウエストレイズ

## 10/5 熊本トラック協会 清掃ボランティア

10月9日の「トラックの日」にちなみ、熊本県トラック協会菊池支部が、クリーンキャンペーンの一環として JA 菊池周辺の国道 325 号線沿いの清掃ボランティアを実施しました。この活動は、日ごろ道路を使用しているトラック協会の会員が、道路に対する感謝を込めて実施したものです。

当日は小雨の降る中、会員のほかに旭志の軟式野球チームや同協会の職員も参加し、たくさんのごみを集めました。



国道沿いのごみ拾いを行う参加者の皆さん

## 10/4 カンボジアの子どもたちへ 花房小で支援米稲刈り

花房小学校 (田中正浩校長) の全校児童 78 人が、学校近くの水田でアジア・アフリカ支援米の稲刈りを行いました。これは、食育と環境保全およびアジア・アフリカの飢餓に苦しむ人たちの支援として毎年実施しているもので、今年で 12 年目。

地元の指導者から道具の使い方などを教わった児童たちは、元気よく稲刈りを行い、約 1 反をあっという間に刈り終わりました。今回収穫した米はカンボジアの子どもたちに支援米として贈られます。



鎌の使い方を習い、上手に稲を刈る児童

## 10/11 岩崎義郎さんに 法務大臣感謝状

人権擁護委員を本年 9 月末まで 4 期 12 年務めた岩崎義郎さん (木柑子) に、法務大臣から感謝状が贈呈され、市役所で伝達式が行われました。

岩崎さんは、山鹿人権擁護委員協議会、熊本県人権擁護委員連合会の会長などを歴任。後進の育成を図りながら、人権侵害による相談活動や、小中学校、社会福祉施設などで啓発活動に尽力するなど人権尊重思想の普及高揚に貢献しました。今後も人権擁護活動へのご支援をお願いします。



感謝状を手にする岩崎さん④と江頭実市長

## 10/11 青年団の皆さんが 園児と交流

菊池市青年団七城支部 (守塚直紀支部長) の皆さんが、七城管内の幼・保育園児との交流会を開催しました。当日は稲刈り体験の予定でしたが雨のため中止に。屋内に場所を移動し、七城町生活研究グループ連絡協議会による七城米を使ったカレーライスやおにぎりを食べながら交流しました。

守塚支部長は「子どもたちが喜んでる姿を見ることがうれしくなります。これからも地域貢献に努めていきたい」と述べました。



園児たちと一緒にカレーを食べながら談笑する青年団の皆さん





## 10/18 くらだけ友の会親子ふれあいミニバレー大会

第13回くらだけ友の会親子ふれあいミニバレー大会が旭志体育館で開催されました。大会には旭志地域の中学生と保護者の22チーム、旭志中学校の先生2チームの計24チームが出場。試合中は笑顔が絶えず、声を掛け合うなどして親子の絆を深めました。パート毎の優勝チームは次のとおりです。

- Aパート 高永 Bパート 津留男子  
Cパート 姫井 Dパート 大迫  
Eパート 川辺チームB



子どもたちは2日間にわたり熱戦を繰り広げました

## 10/17・18 安全届ける女子高生「KCG30」防犯活動

市内の女子高生30人で構成する防犯ボランティアグループ「KCG30」の皆さんが、学校正門や市内スーパーの店頭で防犯キャンペーンを実施しました。菊池防犯協会の呼び掛けに応じて防犯啓発ボランティア活動などを行っており結成3年目。

生徒たちは、登校してくる生徒や買い物客に「防犯キャンペーン中です。よろしくお願ひします」と元気に声をかけながら、自転車や車の鍵かけなどを呼びかけました。



1. 菊池農高正門で登校してきた生徒に防犯ピラを配布  
2.3. 店頭では来店者に笑顔で防犯を呼びかけました

## 10/20 市内在住の外国人とバスハイイクで交流会

第7回在菊外国人交流会が市内で開催されました。これは市内在住の外国人と市民との交流を図る目的で毎年行われています。

本年はベトナム、タイなど5カ国から9人の外国人と日本人22人が参加しました。参加者たちは柿狩りや竹箸作りを体験。慣れない手つきで製作していると、次第に参加者同士の会話が弾み交流を深めていました。参加者からは「楽しかった。来年は家族で参加する人が増えてほしい」と話していました。



参加した外国人と市民の皆さん

## 10/20 ゆるキャラ大集合! 「鞠智城の日」

鞠智城国営公園園化推進キャンペーンの一環として「鞠智城の日」が歴史公園鞠智城でありました。鞠智城のマスコットキャラクター「ころう君」の誕生会をはじめ、スタンプラリーや七城天守太鼓保存会の皆さんによる演奏で盛り上がりを見せました。

当日はJRウォーキングも開催され、県内外から多くの人参加。沿道に咲くコスモスや西郷南州先生祖先発祥の地、天才バカボンの碑を眺めながら散策を楽しみました。



県内外から人気のゆるキャラたちが訪れ「ころう君」の誕生会を祝いました

## 10/14 OBもまちの安全守ります 警友菊池ボランティア隊

菊池市在住の県警OB有志で構成する「警友菊池ボランティア隊」の発足式が菊池警察署でありました。この団体は街頭啓発運動、犯罪抑止、交通事故防止などの活動に協力することを目的としています。式では松山昌昭署長が「心強い味方ができました。息の長い活動を期待しています」とあいさつ。同隊の緒方光明代表は「警察官時代に培った知識と経験を生かし、菊池市の安心・安全のために努めていきます」と決意を述べました。



松山署長に決意表明する緒方代表

## 10/14 はっけよい! 小学生相撲大会

第20回菊池秋祭菊池神社奉納小学生相撲大会が菊池市相撲場でありました。大会には市内の小学生14チーム男女84人が出場。開会式では大川保博大会会長が「たくさん参加していただきうれしく思う。6年生は最後なので思い出をつくってほしい」とあいさつしました。試合では、かわいらしい取り組みから大人顔負けの激しい取り組みが繰り広げられ、大いに盛り上がりました。大会中、元関脇の舞の海関がサプライズ登場し、大会に花を添えました。



土俵上で力と技と意地をぶつけ合う子ども力士

## 10/16 教育委員の佐藤証さん 文部科学大臣表彰

教育委員の佐藤証さん(南桜ヶ水)が文部科学大臣表彰を受賞し、報告のため市役所を訪問しました。この表彰は、教育行政で特に大きな功労があった人に対し贈られるものです。

佐藤さんは合併前と合併後の12年間教育委員に就任。ICT授業や伝統文化継承、小学校統廃合への取り組みなど多くの功績を残しています。佐藤さんは「今後も学校教育の充実に力を注ぎたい」と抱負を述べました。



受賞した佐藤さん@江頭市長

## 10/16 命の育み学びます 菊池高生が子育てを学習

菊池高校1年生が、子育て支援センター「さくらんぼハウス」と菊池さくら保育園で、同センター利用者の親子と交流しました。

生徒たちは、利用者が用意した出産シーンのビデオを見た後、6班に分かれて出産までのエピソードや育児の楽しさ、苦労話などを対談。参加した春木凌成さんは「自分たちがどうやって産まれたのかビデオを見て知り感動した。子どもができれば育児にも積極的に参加したい」と話しました。



センター利用者に対談しながら赤ちゃんふれあう生徒たち





## 11/1 菊池の米を世界へ 第1回「菊池米」食味コンクール

第1回「菊池米」食味コンクールが七城リバーサイドパークの多目的ホールで開催され、坂本道博さん（岩瀬）出品の米が最優秀賞に選ばれました。コンクールには市内農業者64人が出品。米の食味分析計測器による1次審査を受けて、計測器スコアの上位7人が本選に出場。本場山形の有機栽培農家や東京銀座の和食店オーナーなど計50人の審査員による食味審査により決定しました。

最優秀賞に選ばれた坂本さんは「昨年と比べると



真剣な表情で食味する審査員。市内の高校生も審査員として参加しました



最優秀賞の坂本さん

味は良かったが、まさか優勝できるとは思わなかった。今後はもっとたくさんの消費者に売り込んでいきたい」と述べました。上位入賞者が栽培した米は、福岡市内のホテルなどで取引されています。

入賞者は次のとおりです。（敬称略）

**最優秀賞** 坂本道博（岩瀬）

**優秀賞** 児玉貴雄（七城松島）、歌丸研一（下水次）、村上保夫（遊蛇口） **優良賞** 田代晃輔（本村）、菊永光作（加恵）、堀田英臣（元村）

## 10/30 認知症にご理解とご協力を 認知症啓発活動

菊池市認知症アドバイザーの皆さんが、市内の道の駅店頭で認知症啓発活動を行いました。この活動は「認知症啓発キャンペーン2013inくまもと」の開催に合わせ、地域の皆さんに認知症への理解を深めてもらおうと実施したものです。

当日は11人の認知症アドバイザーが参加。道の駅を訪れる人々に、ティッシュやチラシなど啓発用品を渡しながら、認知症への理解と支援への協力を呼びかけていました。



活動に参加した認知症アドバイザーの皆さん

## 10/30 憩いの森公園が 都市公園コンクールで入賞

泗水町吉富にある「憩いの森公園」が、第29回都市公園コンクール設計部門（小規模）で一般社団法人日本公園緑地協会会長賞を受賞しました。この表彰は、技術水準の向上と新たな時代の都市公園の創造などを目的に行われています。人々が日常的に集まり、気付かないうちに地域の自然や歴史・文化を知り未来へとつないでいくことを目指した設計方針が評価されました。なお、同公園は市民参加のワークショップでのご意見を基に設計しています。



東京都内で開催された全国大会で表彰されました

## 10/27 みんなで笑って楽しんで 第11回菊之池ふれあい祭り

第11回菊之池ふれあい祭りが菊之池小学校体育館をメイン会場に開催され、約千人の来場者が秋の1日を楽しみました。当日は天候にも恵まれ、ウォークラリー大会には早朝から約300人が参加。地域の歴史・文化・史跡を訪ねてクイズに挑戦しながら時間と正解率を競いました。

会場では、約400の応募があった人権標語の表彰のほか、演舞やカラオケなどのステージイベント、バザーなどでにぎわいを見せていました。



菊池女子高生によるアフリカ太鼓ジェンベの演奏

## 10/30 上手にできたよ！ 隈府小で生菓子作り体験

学童育成クラブを利用する隈府小児童63人が和菓子作りに挑戦しました。これは、県と市の農林水産物を使用したおやつを開発し児童育成クラブに提供することを目的に開催されたものです。当日は菊池菓子工業組合から4人が講師として参加。児童たちは講師から作り方を習いながら「らくがん」や「くまモン」の生菓子を作りました。1年の元村智香さんは「難しかったけど上手にできました。家族みんなで食べます」と笑顔で話しました。



1. 児童が挑戦した和菓子 2,3. 菓子組合員から作り方を習いながら夢中で和菓子を作る子どもたち

## 10/22 隈府小3年芹川ひかりさん 熊日童話会長賞受賞

第52回熊本県童話発表大会が熊本市で開催され、本市から出場した隈府小3年の芹川ひかりさんが熊日童話会長賞を受賞しました。大会には地方大会から推薦された代表児童23人が出場。児童たちの感性あふれる語りが観客を魅了しました。

受賞の報告で市役所を訪れた芹川さんは「文章を飛ばしたり忘れていたりすることがありましたが、お母さんと一緒に練習してできるようになりました。次も友達と一緒に頑張ります」と笑顔を見せました。

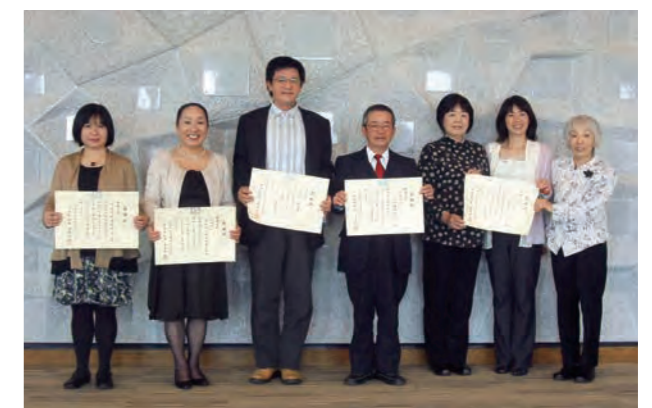


受賞した芹川さん

## 10/30 認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者受賞

熊本県の認知症になっても安心して暮らせるまちづくり功労者として、個人の部で菊池中央病院の曾山直宏先生、団体の部で熊本日日新聞社七城販売店、キクチ観光タクシー、菊池市キャラバンメイト劇団「くらたけ」の3団体が受賞しました。

また、熊本県認知症介護指導者の会も受賞し、孔子の里副施設長松永美根さんが代表して賞状を受け取りました。今後も認知症の人やその家族への理解を深めていくうえで活躍が期待されます。



受賞者の皆さん